

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）」は、このたび、第22期の決算を行いました。

当ファンドは、グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第22期末(2019年2月26日)

基準価額	11,797円
純資産総額	75百万円
第22期	
騰落率	△5.3%
分配金(税引前)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

# グローバル・エクセレント・オープン （愛称 世界連峰）

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2018年8月28日～2019年2月26日

## 交付運用報告書

第22期（決算日 2019年2月26日）

 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

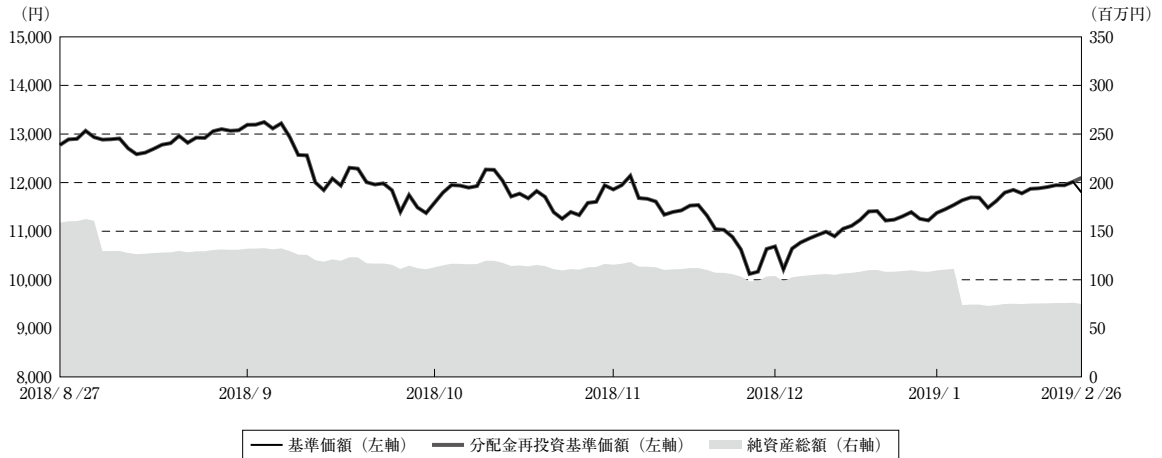
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2018年8月28日～2019年2月26日）



期首：12,774円

期末：11,797円（既払分配金（税引前）：300円）

騰落率：△5.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年8月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・収益の高成長が見込まれた米国のソフトウェア・サービス株や半導体関連株、ヘルスケア株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、業績の伸長が見込まれる米国のSALESFORCE.COM INCやXILINX INC、VEEVA SYSTEMS INCなどの上昇がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・2018年前半までの株価上昇の反動から、年後半より利益確定の動きが強まった米国の大手テクノロジー株などの下落がマイナスに影響しました。
- ・個別では、米国のALPHABET INCやAMAZON.COM INC、APPLE INCなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、米ドルやユーロが円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2018年8月28日～2019年2月26日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	96 (45) (45) (5)	0.801 (0.379) (0.379) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  (株式)	9  (9)	0.074  (0.074)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税  (株式)	1  (1)	0.004  (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用  (保管費用)  (監査費用)  (その他)	17  (16)  (1)  (0)	0.144  (0.138)  (0.006)  (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合計	123	1.023	
期中の平均基準価額は、11,938円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

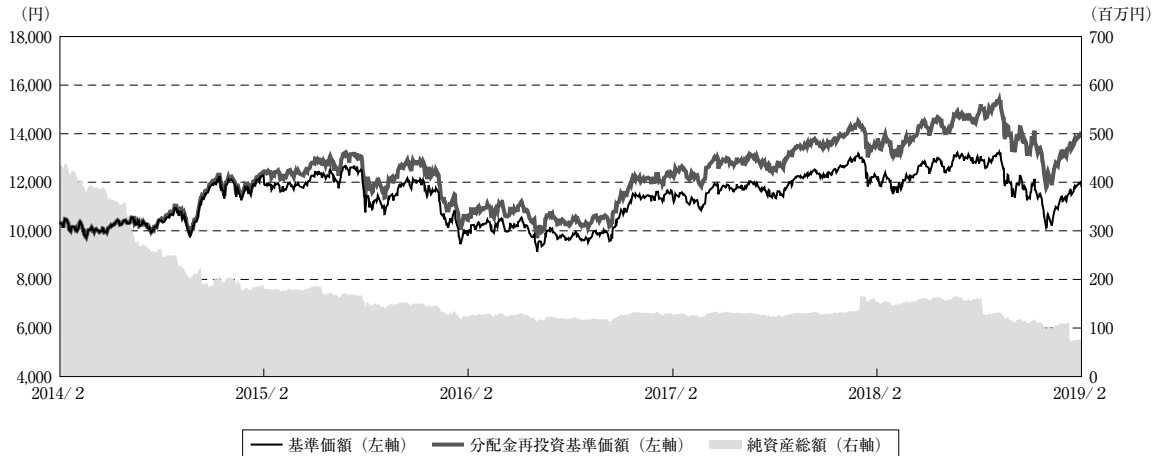
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年2月26日～2019年2月26日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年2月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年2月26日 期初	2015年2月26日 決算日	2016年2月26日 決算日	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月26日 決算日
基準価額 (円)	10,268	11,913	10,007	11,194	12,118	11,797
期間分配金合計(税引前) (円)	-	500	200	300	400	700
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	21.1	△14.4	14.9	11.9	3.0
S&P 500指数騰落率 (%)	-	14.6	△7.7	21.3	16.1	1.8
ストックス・ヨーロッパ600指数騰落率 (%)	-	14.3	△15.6	13.3	3.0	△2.4
純資産総額 (百万円)	433	180	124	125	153	75

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

（2018年8月28日～2019年2月26日）

世界株式市場は、2018年8月下旬から10月初旬にかけては米国において主要指数が過去最高値を更新する展開となりました。しかし10月上旬から下旬にかけては米国の長期金利上昇や欧州の政治を巡る警戒感から下落に転じました。11月はおもひ合せて推移したものの、12月に入ってから、中国の通信機器大手企業の幹部逮捕を受けて、米中通商摩擦への懸念が高まったことなどから下落する展開となりました。2019年1月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が柔軟な金融政策姿勢を示したことから投資家心理が改善し、期末にかけて反発する展開が続きました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2018年8月28日～2019年2月26日）

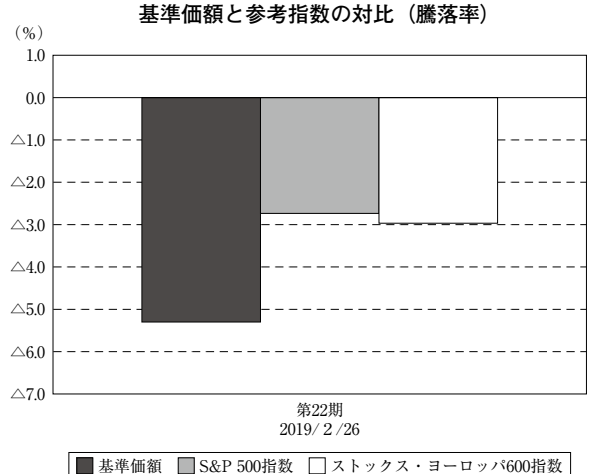
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

マザーファンドの運用につきましては、米中通商摩擦の影響や足元の企業業績の動向を踏まえて、米国のエネルギー株や素材株、欧州の消費関連株や素材株を売却する一方、通商摩擦の影響が軽微であると判断して米国のテクノロジー株やヘルスケア株を買い増しました。また、2018年11月以降、中国政府が財政・金融政策により景気の下支えに動き始めたことが中国・香港株式市場の支援材料になると考え、株価バリュエーション面の割安感が高いと判断した中国のネット関連株や公益株を買い付けました。期末にかけては、好業績が続くと見込まれる米国のソフトウェア・サービス株やヘルスケア株を高位とするポートフォリオを維持しました。実質株式組入比率については、概ね87～93%台で推移させました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月28日～2019年2月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

**分配金**

（2018年8月28日～2019年2月26日）

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり300円（税引前）としました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第22期
	2018年8月28日～ 2019年2月26日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	2.480%
当期の収益	-
当期の収益以外	300
翌期繰越分配対象額	2,703

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****<投資環境見通し>**

世界の株式市場は、米国では米中通商協議や景気の先行き不透明感が材料視される一方、FRBが中立的な金融政策を維持することにより米国の景気回復を先取りする動きが次第に強まると考えられることから、戻りを試す展開が続くと考えます。欧州では、域内の景気減速や域内の政治不安が経済活動を抑制すると考えられることに加え、企業景況感が低迷していることから、一進一退の展開が当面続くと予想します。中国・香港では、政府の財政・金融政策による景気刺激効果が徐々に表面化し、年央には景気が底打ちに向かうとの期待を背景に、戻りを試す展開が続くと予想します。

**<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>**

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

**○グローバル・エクセレント・マザーファンド**

米国や欧州など先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資増加が業績改善につながると予想されるテクノロジー株を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

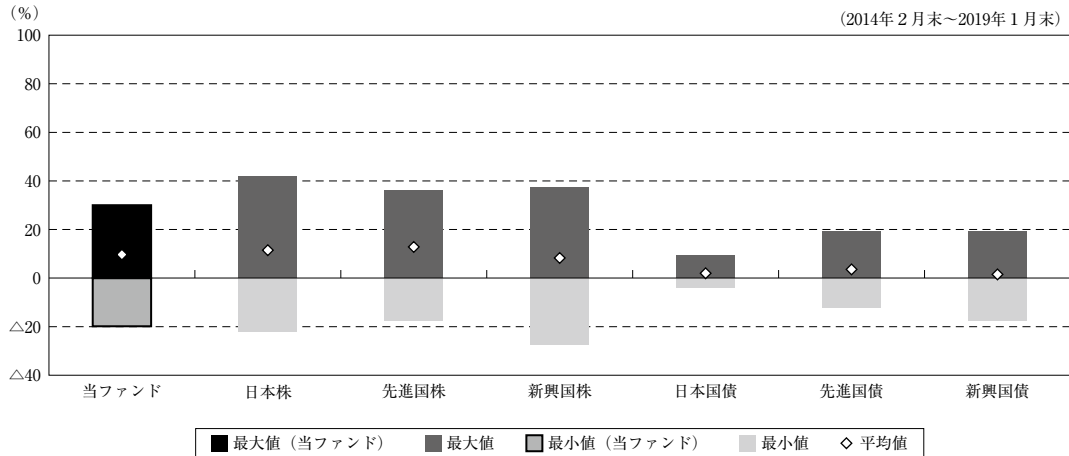
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。
分配方針	毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	



（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.0	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△19.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	9.7	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2019年2月26日現在）

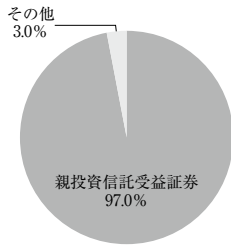
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第22期末
グローバル・エクセレント・マザーファンド	97.0%
組入銘柄数	1銘柄

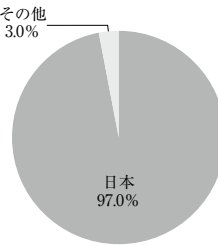
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

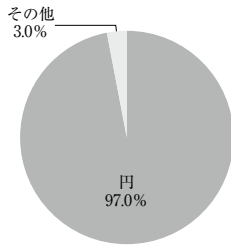
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

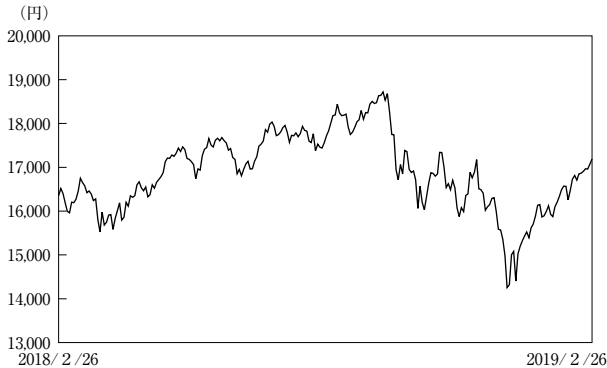
項目	第22期末
	2019年2月26日
純資産総額	75,031,349円
受益権総口数	63,603,064口
1万口当たり基準価額	11,797円

（注）期中における追加設定元本額は8,123円、同解約元本額は60,708,106円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・エクセレント・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2018年2月27日～2019年2月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	19 (19)	0.112 (0.112)
(b) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.014 (0.014)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 (36) (1)	0.225 (0.217) (0.008)
合計	59	0.351

期中の平均基準価額は、16,797円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

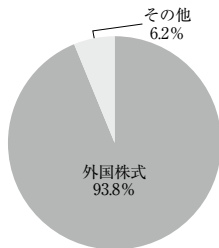
【組入上位10銘柄】

(2019年2月26日現在)

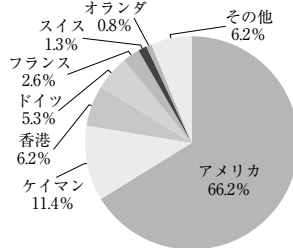
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 INTUITIVE SURGICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	8.4%
2 ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	小売	米ドル	ケイマン	5.6%
3 BIOGEN INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	5.0%
4 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	4.3%
5 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	4.0%
6 ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.9%
7 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	3.9%
8 VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.7%
9 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	3.4%
10 MASTERCARD INC - A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.4%
組入銘柄数		35銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

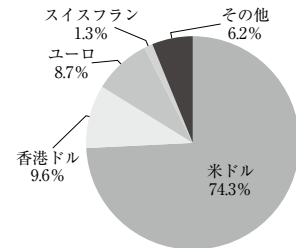
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。